

<<<新たに取り組みを始めた(始める予定)の活動>>>

電話や手紙での安否確認

社協名	内容
上田市	●社協相談電話を活用した、傾聴ボランティアの実施 市内在住70歳以上の独居高齢者を対象に、ボラセン職員による傾聴 今後のニーズ次第では、携帯を活用し、ボランティア団体へ依頼予定
佐久市	ボランティアの方が一人暮らし高齢者に対して安否確認を行う「安心コール事業」の活動が中止となっている為、安心コールボランティアがハガキに心温まるメッセージを書いて社協へ届けてくれた。そのハガキを一人暮らし高齢者へ郵送予定。
御代田町	一人暮らし高齢者サロンを月1回開催していたが、現在行えない状況にあるため、安否確認の電話サービス(週1回)をおこなっているボランティアグループに依頼し、サロン会員へ安心コールをかけるサービスを開始。安否確認を兼ねたお電話を行うことにより不安や孤立感の解消の機会とする。(会員には、安心コールを希望するか事前に伺い、希望者にのみ実施)

マスク

社協名	内容
小諸市	ボランティアの方、市民の方へ布マスク作りへの協力を呼び掛けています。4月末までに約30枚のマスクが集まりました。集まったマスクは、メッセージを添えて袋詰めし、ボランティアセンターや市役所の窓口に置き、地域の方々に無償でお持ち帰りいただきます。ボランティアセンターは臨時休館中ですが、マスクの受け取り、配布については、感染予防をしながら実施しております。
小海町	手芸のボランティア団体が活動ができないからといって、社協へ手作りマスクを作り寄付してくれた。
立科町	立科町協議体による体操とマスク作りのケーブルテレビ放送
東御市	新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも、①視覚障がい者や聴覚障がい者等への情報保障に取り組むボランティア(音訳・点訳・手話等)は継続して活動しており、活動に伴う感染症予防対策として入手困難なマスクは欠かせないため、それらをボランティアセンターで配慮し、また、②社協で推進している事業の対象者である生活困窮者や要介護(支援)高齢者への支援の方策としてもマスクの確保を目的とした支援活動を展開している。 具体的な実践活動としては、①ボランティアセンターで“手作りマスクキット(材料)”を用意し、ボランティアセンターに登録かつ、同キットを希望するボランティアに配布すること、②社協内の組織を活用し、職員がボランティアセンターで確保したキット(材料)を活用、マスクを作成し、生活困窮者や要介護(支援)高齢者へ配布する。

オンライン活用

社協名	内容
軽井沢町	ボランティア団体さん、運営委員さんとオンラインで連絡会議等を検討

情報保障(視覚障がい・聴覚障がい)

社協名	内容
東御市	新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも、①視覚障がい者や聴覚障がい者等への情報保障に取り組むボランティア(音訳・点訳・手話等)は継続して活動しており、活動に伴う感染症予防対策として入手困難なマスクは欠かせないため、それらをボランティアセンターで配慮し、また、②社協で推進している事業の対象者である生活困窮者や要介護(支援)高齢者への支援の方策としてもマスクの確保を目的とした支援活動を展開している。 具体的な実践活動としては、①ボランティアセンターで“手作りマスクキット(材料)”を用意し、ボランティアセンターに登録かつ、同キットを希望するボランティアに配布すること、②社協内の組織を活用し、職員がボランティアセンターで確保したキット(材料)を活用、マスクを作成し、生活困窮者や要介護(支援)高齢者へ配布する。

体操などのフレイル予防

社協名	内容
立科町	●立科町協議体による体操とマスク作りのケーブルテレビ放送 ●町内有線放送によるラジオ体操と呼びかけ

情報提供

社協名	内容
上田市	●ボランティア活動中・ボランティアに興味がある方 改めて、ボランティアについて理解をしてもらうために、広報の紙面を使い、ボランティアとは・ボランティアとしての心構え・ボランティア4原則等紹介し、理解を深めてもらう。
南相木村	●今後、ホームページにて「お知らせ」として生活福祉資金貸付の非対面による手続きや郵送でのご案内をしていきたいと考えています。 ●デイサービスと併設している為、新型コロナウイルスが地域や施設で発生した場合などケースごとの対応について利用者ご家族に通知をおこなっている。

その他

社協名	内容
上田市	●自宅で過ごしている高齢者・親子 (1)施設等に飾ってほしい作品を自宅で作ってもらう。 例 はがき大の紙に、絵・メッセージ、書道の作品 (2)ボランティアセンターに届けてもらう。あるいは取りに伺う。 コーディネーターが希望している施設に届くように調整する。